

SSTG1 Lite 2 リリースのお知らせ

SSTG1 Lite2 は、SSTG1 Lite のアップグレード版ソフトです。インターネット上でライセンスをご購入いただき、365 日単位でご使用いただけます。

<SSTG1 Lite2の特長>

1. SSTG1 Lite にはない新機能が追加されます。

～～ おもな新機能 ～～

- 最終チェック…余分なスペースや改行、NG ワード、カッコの不整合などを一括検出します。
- 多重起動…ウィンドウを複数立ち上げ、同時に複数 sdb を編集することができます。
- sdb 検索…指定したフォルダ内のすべての sdb ファイルを開くことなく文字列検索します。
- 検索属性指定…検索でヒットした文字列に、ルビ・傍点などを一括付与することができます。
- NETFLIX チェック…NETFLIX 社に納品する仕様にあっているか、字幕をチェックします。
- 属性付コピー&ペースト…字幕をハコごとコピー&ペーストできます。
- 新再生機構の搭載により、
 - MOV(h.264, AAC)、MP4 (h.264, AAC)の映像ファイルが再生可能になりました。
 - 連続逆再生時の音声が、テープを巻き戻す感覚で聞けるようになりました。
 - SSTG1 モード (旧再生機構) も搭載しているため、MPEG1/WMV で作業する際は、SSTG1 や SSTG1 Lite と同じ感覚で、安心してお使いいただけます。

一部の新機能は「CANVASS CHANNEL」で解説動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/@canvasschannel>

2. 年間ライセンス更新制を採用しました。

- 年単位でライセンス更新することにより、買い切りではなく**新機能にアップデート**しながらご利用いただけるようになりました。SSTG1Pro / NetSSTG1 と同レベルの編集機能・便利機能をお使いいただけます。
 - ※アップデートは随時リリースではなく、年1回(8月頃)となります。
 - ※高等編集機能はありません。それ以外は NetSSTG1 と同機能です。
- 年間費用が最もお安く抑えられる「**低ランニングコスト**」と「**機能充実**」を両立した、**個人のお客様専用ソフト**です。
- ライセンスを更新せず、休止期間を設けることも可能です。更新された時点からご利用を再開することができます。更新は、マイページで365日チケットを購入するだけの簡単操作です。

3. 個人のお客様専用のソフトです。

法人のお客様にはご購入いただけません。

御見積書の作成、紙の請求書・領収書の発行などはお受けしておりません。システムからの自動返信メールでの通知のみになります。

4. ソフト初回起動時、および年間ライセンス更新時にインターネット上でのライセンス認証があります。

ライセンス認証の際はインターネット接続が必要です。それ以外の通常使用時は接続不要です。

年間ライセンス更新費(チケット代)：19,800円(税別)／年

※チケット代にはサポートにかかる費用が含まれています。別途サポート費は不要です。

5. すでにSSTG1・SSTG1Lite・NetSSTG1をご利用の方は、お乗換えが可能です。

お乗換えにはお得な乗換価格が適用されます。詳細は4ページをご覧ください。

6. 有償の拡張機能として、吹替台本制作支援ソフト「SSTG1 Dub」のご利用が可能です。

<認証可能台数>

1チケットあたり3台

※台数は年間ライセンス更新ごと(チケットごと)にリセットされます。

<dongle>

1ライセンスにつき1本貸与 ※dongleがないとソフトを起動できません。

<簡易比較表>

主たる機能と価格の違い				
製品	SSTG1Lite2	NetSSTG1	SSTG1Lite	SSTG1
多重起動	○	○	×	×
最終チェック機能	○	○	×	×
検索属性指定	○	○	×	×
sdb検索	○	○	×	×
MOV&MPEG4再生	○	○	×	×
Netflixチェック機能	○	○	×	×
高等編集機能	△(別売)	○	△(別売)	△(別売)
吹替台本制作支援ツール「SSTG1 Dub」オプション	△(別売)	△(別売)	×	×
アップデートのタイミング	年1回	随時	販売終了	販売終了
チケットのバリエーション	365日のみ	10日 30日 90日 180日 365日		
初期費用(税込)	¥217,800	¥65,780	¥217,800	販売終了
チケット費用(税込)	¥21,780	¥39,336	無料	保守終了

<販売開始日>

2016年8月1日

<システムの各名称について>

ライセンス

お客様に SSTG1 Lite2 をご利用いただくライセンス許諾のことをいいます。

ライセンスをご購入いただくことで、インストーラがダウンロードできるようになります。

ライセンスは年単位での更新が必要です。

利用チケット

SSTG1 Lite2 の年間ライセンスを更新していただくためのチケットです。使用開始時から 365 日間有効です。2 年目以降、ライセンスを更新される際はチケットをお買い求め下さい。

チケットの利用日数は、使用開始時のパスワード入力画面にパスワードを入力し、認証した瞬間からカウントが開始されます。**SSTG1 Lite2 を使用しない日もカウントされますのでご注意ください。**

インストーラ

SSTG1 Lite2 を PC にインストールするためのファイルです。ライセンス購入後、お使いの PC にダウンロードし、インストールを行って下さい。

アップデート

SSTG1 Lite2 をバージョンアップするためのファイルです。年に一度リリースされます。ご利用の際はお客様ご自身でダウンロードし、アップデートを行って下さい。

dongle

SSTG1 Lite2 は、ソフトのみインストールしても起動・編集共に行うことができず、必ず dongle という USB 形式のキーが必要になります。dongle は、ソフト購入後、弊社よりお送りさせていただきます。

<推奨PCスペック：新再生モード>

OS	Windows10/11（日本語版/英語版） ※Arm版Windows/Macでの動作保証はしていません。	HDD 空き容量	10GB 以上
Display	解像度 1366×768 以上	メモリ	8GB 以上
CPU	Intel Core i5 以上 *1		

*1：ただし、下記の型番は性能値が低いため、動作保証対象外となります。

Core i5-430UM / Core i5-4400E / Core i5-470UM
Core i5-520UM / Core i5-540UM / Core i5-560UM
Core i7-620UM / Core i7-640UM / Core i7-680UM

<推奨PCスペック：SSTG1モード>

OS	Windows10/11（日本語版/英語版） ※Arm版Windows/Macでの動作保証はしていません。	HDD 空き容量	2GB 以上（別途映像などの保存領域が必要）
Display	解像度 1024×768 以上	メモリ	8GB 以上
CPU	Core 2 Duo 以上		

※SSTG1、SSTG1Lite と同等の推奨 PC スペックとなります。この場合、TV チューナー付の PC は避けてください。

<価格>

初期費用

		ライセンス有効期限	税抜き	税込み
新規ご購入		初回起動時から 365日間	¥198,000	¥217,800
SSTG1 Lite からの お乗換え	SSTG1 Lite新規ライセンスの場合		¥89,800	¥98,780
	SSTG1→SSTG1 Lite乗換ライセンスの場合		¥149,800	¥164,780
Net SSTG1からのお乗換え（※1）			¥153,200 （※2）	¥168,520
SSTG1からのお乗り換え			¥149,800	¥164,780

※1 SSTG1から乗り換えたNetSSTG1を現在お使いのお客様は、
該当の「SSTG1からのお乗換え」欄の価格+ dongle 交換費（15,000円）となります。

※2 SSTG1 Lite2定価（198,000円）- NetSSTG1定価（59,800円）+ dongle 交換費（15,000円）

※3 乗換えの場合、現在ご利用中のdongleはご返却下さい。
ご返却いただけない場合は、乗換えではなく新規でご購入下さい。

年間ライセンス更新費（チケット代）

※ 2年目以降ご利用の際、必要となります。

	税抜き	税込み
365日チケット	¥19,800	¥21,780

チケット代にはサポートにかかる費用が含まれています。別途サポート費は不要です。

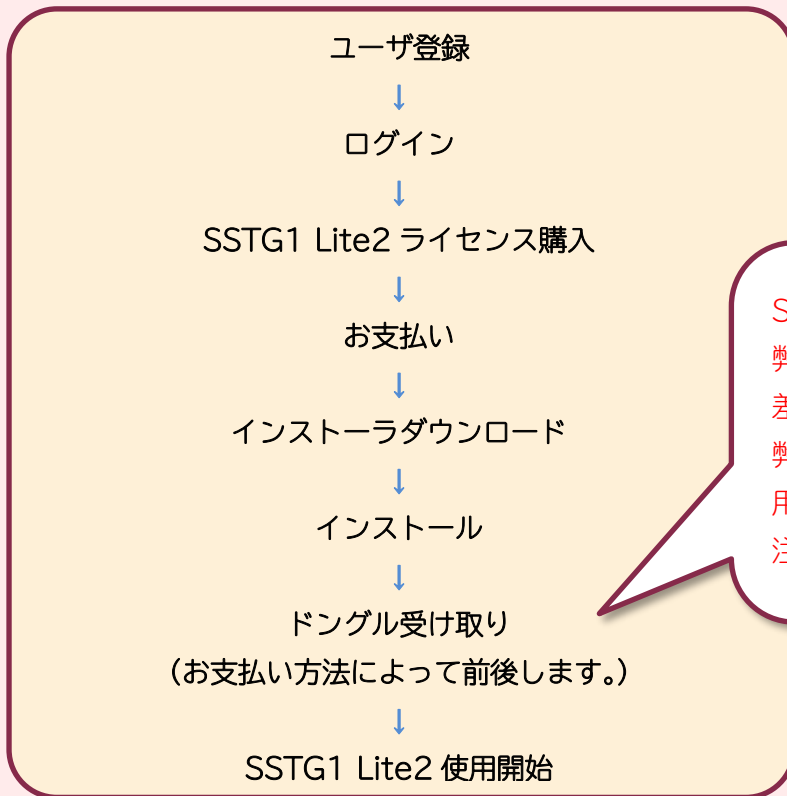
<SSTG1 シリーズ機能比較表>

(2023年5月現在)

			SSTG1 Pro	NetSSTG1	SSTG1 Lite2	SSTG1 Lite ※販売終了	SSTG1 ※販売終了
ドングルの有無			○	○	○	○	○
Net認証機能			△	○	○	×	×
基本機能	編集機能	字幕テキストの入力削除	○	○	○	○	○
		スポッティング機能	○	○	○	○	○
		連続逆再生機能	○	○	○	×	×
		倍速再生の音声ピッチ維持	○	○	○	×	×
		Bトラック	○	○	○	○	○
		字幕番号の振り直し	○	○	○	○	○
		文字のエフェクト (ルビ・イタリック・傍点・組文字)	○	○	○	○	○
		表示位置・行配置の設定	○	○	○	○	○
		多重起動	○	○	○	×	×
		多言語フォントの表示	○	○	○	×	×
		検索機能の強化(A Bトラック同時検索、コメント検索)	○	○	○	×	×
		sdb検索	○	○	○	×	×
		ピッチ調整	○	○	○	×	×
		レンダリング機能 (サポート対象外)	△	△	△	×	△
		Netflix用データチェック	○	○	○	×	×
	最終チェック	○	○	○	×	×	
	import	見直し用リスト (Excel)	○	○	○	○	○
		台本 (txt)	○	○	○	○	○
		SSTファイル (sdbファイル統合用)	○	○	○	○	○
	export	プロジェクトファイルの保存 (sdb)	○	○	○	○	○
		見直し用リスト (Excel)	○	○	○	○	○
		見直し用リスト (txt)	○	○	○	○	○
		申し送りリスト (Excel)	○	○	○	×	×
		CASTファイル	○	×	×	○	○
		SRTファイル	○	○	○	×	○
		放送用字幕制作ソフト用NABファイル	×	○	○	×	×
		Adobe Encoreフォーマット	○	○	○	×	○
		Apple DVD Studio Proフォーマット	○	○	○	×	○
		Avid Sub Capフォーマット	○	○	○	×	○
		Blu-ray CANVAsS Sirius Bluフォーマット	○	×	×	×	○
ittファイル (iTunes用字幕ファイル)		○	×	×	×	×	
WebTTTファイル	○	○	○	×	×		
映像フォーマット	MPEG1	○	○	○	○	○	
	WMV	△	△	△	○	○	
	MOV(h. 264, AAC)	○	○	○	×	×	
	MP4(h. 264, AAC)	○	○	○	×	×	
	avi (DV)	△ (予定)	△ (予定)	△ (予定)	×	×	
有料オプション	高等編集機能	フォントエッジの種類サイズカラーの設定	○	○ (無償)	○	○	○
		カーニングレディングの調整	○	○ (無償)	○	○	○
		検索属性指定	○	○ (無償)	○ (無償)	×	×
		文字の自由位置	○	○ (無償)	○	○	○
		フェードインフェードアウト	○	○ (無償)	○	○	○
		マスク	○	○ (無償)	○	○	○
		import	ビデオトン・ラムダファイル	○	×	×	×
	スクリーンサブタイトルリングファイル		○	×	×	×	○
	EBUファイルのインポート		○	×	×	×	○
	CASTファイルのインポート		○	×	×	×	○
	export	SRTファイル	○	×	×	×	×
		EBUファイル	○	×	×	×	○
		ビデオトンラムダファイル	○	×	×	×	○
		Netflix Cap	○	×	×	×	○
		スクリーンサブタイトルリングファイル	○	×	×	×	○
		DVD SONIC (シナリスト) フォーマット	○	×	×	×	○
		DVD パナソニックフォーマット	○	×	×	×	○
		Blu-ray SONIC (シナリスト) フォーマット	○	×	×	×	○
		Blu-ray パナソニックフォーマット	○	×	×	×	○
		DV2000フォーマット	○	×	×	×	○
		CANVAsS Open Subtitle file format (EDIUS6等)	○	×	×	×	○
		AAFエクスポート (Premiere Pro / Final Cut Pro7)	○	×	×	×	○
		↳ EDIUS6~10用オプション	○	×	×	×	○
		↳ Avid Media Composer用オプション	○	×	×	×	×
		DLPデジタルシネマ用XMLファイル (TI)	○	×	×	×	○
	デジタルシネマ用XMLファイル(SMPTE)	○	×	×	×	×	
	ittファイル (ルビ・縦字幕対応)	○	×	×	×	×	
	IMSC1.1 (TTML2) (W3C仕様 / Netflix仕様 / Disney+仕様)	○	×	×	×	×	
	その他オプション	校正機能 ※ジャストシステム社のJust Right!5~7いづれかと指摘情報出力オプションが必要です	○	×	×	×	×
独自機能 (有償)	SSTC1	×	○ (予定)	○ (予定)	×	×	
	SSTG1 Dub	○	○	○	×	×	
アップデート		年間保守費の範囲内	チケット費用の範囲内	チケット費用の範囲内	なし	終了	

※mdbファイルは廃止されました。

<ご購入の流れ>



SSTG1 Lite2 を起動するには
弊社よりお送りするdongleをPCに
差し込む必要があります。
弊社休業日の際は、すぐに製品をご利用
いただけない場合がありますのでご
注意ください。

- ① <https://netsstg1.co.jp/> より新規ユーザ登録をします。
【他のSSTG1シリーズからお乗換えのお客様は・・・】
 - ・「乗換前のソフト」欄で該当のソフトを選択して下さい。
 - ・お乗換えの場合、現在ご利用中のdongleを先に弊社宛にご返却下さい。
- ② ご自身で設定をしたIDとパスワードで、ログインをします。
- ③ ライセンス購入ボタンを押します。



④ ライセンス購入画面で、SSTG1 Lite2 のご購入手続きを行います。

ようこそ! 営業テスト002さん

マイページ(購入履歴確認)

ライセンス購入

利用チケット購入

有償アップデート購入

ユーザ情報確認・変更

有料変更依頼

インストーラダウンロード

アップデートダウンロード

特定商取引法に基づく表記

※ご注意※
ブラウザの戻るや更新等を押下されるとシステムエラーとなる場合があります。ブラウザのボタン押下によるシステム動作は保証しておりませんので、ご了承ください。

ログアウト

ライセンス購入

ライセンス選択

支払方法選択

決済(カード支払時)

完了

ご購入されるライセンスを選択してください。

※他のSSTシリーズからNetSSTG1への乗換の方は、弊社からのシステム自動配信以外の連絡が行くまで、ライセンス購入手続を開始しないでください。
乗換毎に、ご購入いただくライセンスや価格等が異なりますので詳細をご案内します。

ご購入の場合：ご購入のライセンスを選択して「ご購入内容確認」ボタンを押下。

ライセンス名	バージョン	価格(税込価格)	リリースノート	ご購入のライセンス
NetSSTG1 (Net初期無料60日間)	1.0	62,790円	-	<input type="checkbox"/>
SSTG1Lite2 (Lite2初回365日間)	1.0	213,840円	-	<input type="checkbox"/>

ご購入内容確認

割引なしの定価でご購入のお客様は、そのまま最後までご購入手続きを進めてください。

他の SSTG1 シリーズからのお乗り換えのお客様、翻訳学校割引適用のお客様は**割引価格でのご案内となりますので、支払方法選択画面で「クレジットカード支払い」はお選びいただけません。**

「銀行振込」または「e コレクト」を選択して下さい。

※「クレジットカード支払い」を選択すると、画面に記載の通りの価格（定価）で決済されますのでご注意ください！

※ご注意※

インストーラがダウンロード可能になるタイミングは、お支払い方法によって異なります。

お支払い方法	インストーラがダウンロード可能になるタイミング	弊社からのダウンロード可能のお知らせの有無
銀行振込	弊社にてお振り込み確認後	有
佐川急便 e-コレクト	ドングル発送時	有
その他（代理店経由の方）	弊社より代理店様にご連絡し、確認がとれた後	有
クレジットカード支払い	ライセンス購入完了後	無

※ご注意※

1度クレジットカードでお買い物をされると、2回目以降にクレジットカード支払いを選択した際、初回ご利用時のカードで自動的に決済されます。

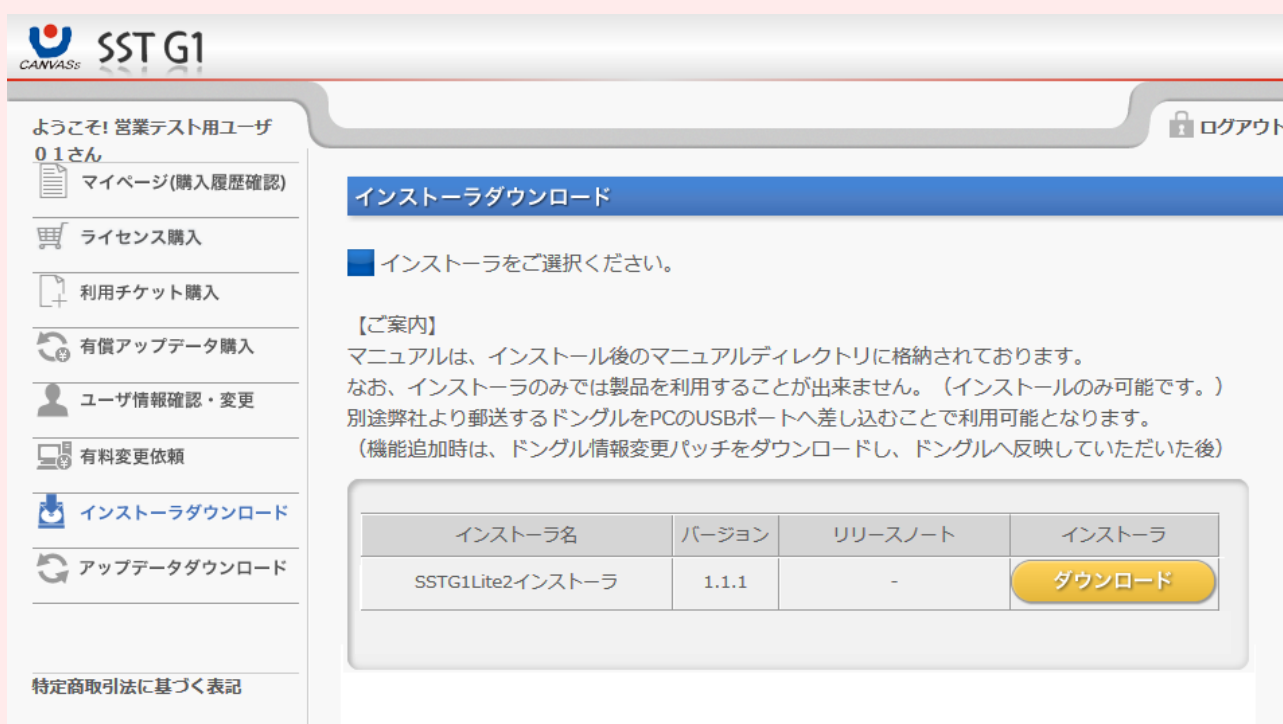
前回と別のカードのご利用を希望される場合は弊社までご連絡ください。

⑤ インストーラのダウンロード

「インストーラダウンロード」メニューより、ダウンロードボタンを押して、ダウンロードをします。

ダウンロードの際は、基本的にバージョンが最新のものをダウンロードしてください。

インストール方法は、ダウンロードファイルの中に入っている「SSTG1Lite2_インストールガイド.pdf」をお読みください。



The screenshot shows the SST G1 user interface. On the left is a navigation menu with options like 'マイページ(購入履歴確認)', 'ライセンス購入', '利用チケット購入', '有償アップデート購入', 'ユーザ情報確認・変更', '有料変更依頼', 'インストーラダウンロード', and 'アップデートダウンロード'. The main content area is titled 'インストーラダウンロード' and contains the following text:

インストーラをご選択ください。

【ご案内】
マニュアルは、インストール後のマニュアルディレクトリに格納されております。
なお、インストーラのみでは製品を利用することが出来ません。（インストールのみ可能です。）
別途弊社より郵送するdongleをPCのUSBポートへ差し込むことで利用可能となります。
（機能追加時は、dongle情報変更パッチをダウンロードし、dongleへ反映していただいた後）

インストーラ名	バージョン	リリースノート	インストーラ
SSTG1Lite2インストーラ	1.1.1	-	ダウンロード

※インストールのみでは、SSTG1 Lite2 は起動しませんので、ご注意ください。

弊社よりお送りするdongleを PC に差し込む必要があります。

弊社より、dongleのお届けに関するご連絡をさせていただきます。（タイミングはお支払い方法によって異なります。）

弊社休業日の際は、すぐに製品をご利用いただけない場合がありますのでご注意ください。

<SSTG1 Lite2ご利用時の留意点>

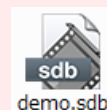
- ① 新再生機構でスクイーズの映像を通常再生する際、セーフティラインがフラッシングすることがあります。今後のアップデート時に修正予定です。
- ② 新再生機構利用時、キー操作のスピードによっては、再生への遷移、2倍速再生への遷移、逆再生への遷移、2倍速逆再生への遷移の際に、波形上の赤カーソルが止まる場合があります。その際は再度、当該操作キーの入力を行ってください。この仕様につきましては、今後設計変更による改善を予定しています。
- ③ MOV、MP4の音声コーデックの動作保証は現状AACのみとなります。
- ④ MP4の映像はプロファイルが多岐に渡るため、一部の映像は利用できない場合があります。
- ⑤ プレビュー画面における字幕の位置を、より完パケでの字幕の位置に近づける調整を入れたため、今までのSSTG1やSSTG1 Lite（映像再生のDirectShowモード）と比べて字幕位置に関し1ピクセル程度下へのズレを感じる可能性があります（映像が1ピクセル程度上に上がる感覚）。
- ⑥ 今まで23.98fpsの映像ファイルで編集する場合、タイムコードの基本設定で「24Fr」をご選択いただいていたのですが、SSTG1 Lite2 新再生モードでは「24P」を選択していただければ自動的に23.98fpsか24.00fpsかを判断するよういたしました。SSTG1モードでは従来通り「24Fr」を選択して下さい。
- ⑦ 23.98fpsの映像ファイルを使用して、SSTG1にて「24Fr」の設定で編集したsdbファイルについては、SSTG1 Lite2（新再生モード）で開いた際に、「このsdbファイルは24Frで編集されています。新再生モードでは24Pにフレームタイプ変換をして編集してください」というメッセージが出ます。その場合、フレームタイプを「24Fr」から「24P」へと変換してください。
逆に、SSTG1 Lite2で作成した24Pのプロジェクト（23.98fpsの映像用）をSSTG1やSSTG1 Liteで編集する場合、フレームタイプを、「24P」から「24Fr」に変換する必要があります。SSTG1/Liteユーザーにsdbファイルを渡す際には、[ファイル]－[SSTG1用に24Frで保存]を選択し、24Frに変換してから渡すよう、ご注意ください。
- ⑧ SSTG1 Lite2ではsdbファイルやアプリケーションのアイコンを変更していますが、自動で変更されない場合があります。

<SSTG1 Liteの.sdbファイルアイコン>



→

<SSTG1 Lite2の.sdbファイルアイコン>



sdbファイルをSSTG1 Lite2とひも付けたい場合は、sdbファイルを右クリック→[プログラムから開く]→[別のプログラムを選択]にて、「SSTG1Unified」を選択してください。

- ⑨ SSTG1と同様のレンダリング機能は付属しておりますが、サポート対象外となります。
- ⑩ 音声のサンプリングレートを上げることにより、音圧を細かく表現でき、波形データにより正確性を持たせることができるようになりました。その分、波形データ(wavファイル)のサイズが以前のSSTG1と比較して10倍ほどのサイズとなっております。ストレージのあまりないPCで作業をされる場合には、波形データを定期的に削除することをおすすめいたします。
- ⑪ キャプチャーボードでテープメディアよりキャプチャーした映像に関して、フレームの整合性のとれない映像ファイルが作成される可能性があります。そのような映像の場合、ソフト内で処理を加

えるため、波形ウィンドウ上の映像再生の動作が若干鈍くなる可能性がございます。

- ⑫ 新再生機構において、DV コーデックの .avi ファイルや WMV を利用することも可能ですが、現状、1～2フレーム、映像に対して音声後ろにずれる不具合が発生しているため、現時点では AVI 対応、WMV 対応を謳っておりません。本件については現在修正作業を実施中で、mov と同じく対応を謳う予定となっております。
- ⑬ 画角が 720×480(SD) で作成された映像の場合、画面スケールを「101%～109%」で設定すると、映像と字幕がズれる不具合が発生しております。「画面にフィット」ボタンを押した際にもこの数値になってしまうと、発生します。
- ⑭ 新再生機構において1フレーム再生で音が出ない場合、下記の手順で PC のサウンドの設定を変更してください。
 - 1) PC のコントロールパネルを開き、[サウンド]－[再生]タブを開く。
 - 2) [サウンド]－[再生]タブに存在している再生デバイス（スピーカーなど）を右クリック→プロパティでプロパティ画面を開く。
 - 3) [拡張]タブを選択し、「すべてのサウンド効果をオフにする」にチェックを入れる。
- ⑮ SSTG1 モード（映像再生の DirectShow モード）でご利用いただける映像フォーマットは、MPEG1、WMV のみです。
- ⑯ Windows のディスプレイ設定でテキストのサイズを「小（100%）」「中（125%）」「大（150%）」以外に設定した場合は、Windows のスケーリング機能（画面や表示領域の広さに合わせて自動的に拡大・縮小する機能）に対応できず、表示が崩れたり文字が切れたりすることがあります。
- ⑰ mpeg1・WMV の映像を開いた際に、新再生機構でスムーズに再生できない場合、[設定]－[ユーザー設定]－[再生]タブの「MPEG-1 と WMV の映像ファイルには DirectShow を使う」にチェックを入れ、sdb ファイルを開き直すことで、Direct Show（SSTG1 モード）を使って再生が行えます。
- ⑱ SSTG1 Lite2 は Windows10 の正式サポートを行っておりますが、新再生機構において一部の MOV 形式の映像の倍速再生および逆再生・倍速逆再生時に音割れがする問題を確認しており、こちらにつきましてはサポート対象外とさせていただきます。本事象については次回アップデートにて修正予定です。